

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 28 年 7 月 20 日

理事長 松山 良一

第 22 回国際自動制御連盟総会の 2023 年横浜開催が決定！

～オールジャパン体制による誘致活動が奏功～

- トルコ共和国 イスタンブールで開催された国際自動制御連盟の理事会(2016 年 6 月 22 日～6 月 24 日)において、2023 年の総会開催地が横浜に決定しました。
- 今回は、日本(横浜)、アメリカ(シカゴ)、オーストラリア(メルボルン)が最終選考に進み 3ヶ国での競争の結果、日本での開催が決定しました。日本では 1981 年の京都以来 42 年ぶり 2 度目の開催となります。
- 国際自動制御連盟総会の日本開催により、日本の産官学が世界に先駆けて研究をすすめるスマートシティ、自動運転、スマートグリッド、災害対策用や医療用ロボットなどの環境・エネルギー・災害・健康分野における新世代のシステム制御技術の開発や実現化の加速が期待されます。
- JNTOは、観光庁、横浜市、横浜観光コンベンションビューロー、パシフィコ横浜と連携し、MICEアンバサダーの東京大学教授 浅間 一氏による誘致活動を支援しました。MICEアンバサダープログラムを活用した国際会議としては5件目です。

会議名	和文): 第 22 回国際自動制御連盟総会 英文): 22nd World Congress of the International Federation of Automatic Control 2023		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・IFAC(国際自動制御連盟)は、現在 49 か国が加盟し、システム制御技術に関する学術研究および教育の推進、産業界におけるシステム制御技術の発展を目的とした、制御分野で世界最大の国際学術機関。 ・東京大学の浅間一(あさま はじめ)教授が 2020 年 7 月-2023 年 7 月の IFAC President に就任予定。 ・システム制御技術は近年注目されている IoT (Internet of Things)やスマートシティの実現などに欠かすことのできない科学技術であり、会議開催を機に、環境・エネルギー・災害・健康といった分野への展開によって、日本が目指す、ICT(情報通信技術)を最大限に活用した超スマート社会を実現することが可能となる。 ・システム制御技術における日本とアジアの存在感を欧米に対して高め、日本の産業界および学術界が本分野において世界を先導していく最良の機会となる。 		
主催団体	日本学術会議 IFAC 分科会		
開催都市	横浜	予定開催期間	2023 年 7 月
参加予定人数	2,500 名(海外:1,700 名 国内:800 名)	予定参加国数	約 70 力国・地域
誘致活動	<ul style="list-style-type: none"> ・観光庁との連携のもと、内閣府特命担当大臣ビデオレター作成、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、観光庁長官、神奈川県知事、横浜市長、JNTO 理事長名の招請状を发出。 ・MICE アンバサダープログラムとして、プレゼン資料・PR プロモーションビデオの作成のほか、2016 年 6 月にイスタンブールで開催された理事会の場において JNTO からはロンドンのコンベンションマネージャーがプレゼンテーションをサポートし、オールジャパン体制での支援を表明。 <p>※MICE アンバサダープログラムとは… JNTO では、国際会議の日本誘致を推進するため、学術分野や産業界において、国内外に対する強い発信力やネットワークを持ち、「日本の顔」として広報活動や誘致活動に寄与いただける有識者の方々を MICE アンバサダーとして任命、その活動に対し必要な支援を行う「MICE アンバサダープログラム」を展開。</p>		

本件に関するお問い合わせ先

コンベンション誘致部 (村上) TEL:03-3216-2905